

科目名 微生物学 時間割表記名 微生物学		配当時期 1 年次 前期 単位数 1 単位 時間数 30 時間(16 回)	講義担当者 江藤 晶
事前学習内容 テキストを用いて予習した上で授業に臨むこと			
授業目標 1. 微生物と人体の関係を知り、感染や疾病の発生について理解することができる 2. 感染予防および蔓延防止の方法について理解することができる			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる			
回	学習内容と成果	方法	備考
1	1.微生物の成り立ち(1)	講義	テキスト①
2	1)微生物の種類 2)微生物学 3)コッホとパスツール		
3	2.微生物の成り立ち(2)	講義	テキスト①
4	1)ウィルス学総論		
5	2)遺伝子 3)細菌の構造		
6	3.細菌学総論 1)細菌の代謝と増殖 2)感染・発病 3)滅菌消毒 4)検査法(染色法と観察)	講義	テキスト①
7	4.細菌学各論(1) 1)黄色ブドウ球菌と薬剤耐性 2)連鎖球菌 3)グラム陰性双球菌	講義	テキスト①
8	5.細菌学各論(2) 1)緑膿菌と日和見感染 2)百日咳 3)レジオネラ菌	講義	テキスト①
9	6.細菌学各論(3) 1)腸内細菌 2)O-157と集団感染 7.細菌学各論(4) 1)ヘモフィルス属 2)ジフテリアと外毒素 3)結核菌 4)ろ過性病原体	講義	テキスト①
10	8.ウィルス学総論 1)ろ過病原体とウィルス 2)ヘルペス 3)サイトメガロウィルス	講義	テキスト①

11	9.ウイルス学各論(1) 1)インフルエンザ 2)はしかとおたふく風邪 3)風疹と CRS 10.ウイルス学各論(2) 1)ポリオウイルス 2)日本脳炎 3)エマージングウイルス	講義	テキスト①
12	11.ウイルス学各論(3) 1)ウイルス肝炎 2)エイズ・成人 T 細胞白血病 3)コロナウイルス 12. 真菌学・原虫学 1)カンジダ症 2)糸状菌 3)マラリア 4)カリニ肺炎他	講義	テキスト①
10	13.免疫学(1) 1)免疫の役割 2)生体防御反応 3)液性免疫	講義	テキスト①
11	14.免疫学(2) 1)細胞性免疫 2)ワクチン 3)免疫病	講義	テキスト①
15	まとめ	講義	* 45 分
16	筆記試験(45 分)	試験(筆記)	
受講上の注意			評価方法 筆記試験
使用するテキスト ①系統看護学講座 専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進[4] 微生物学 医学書院 参考文献			